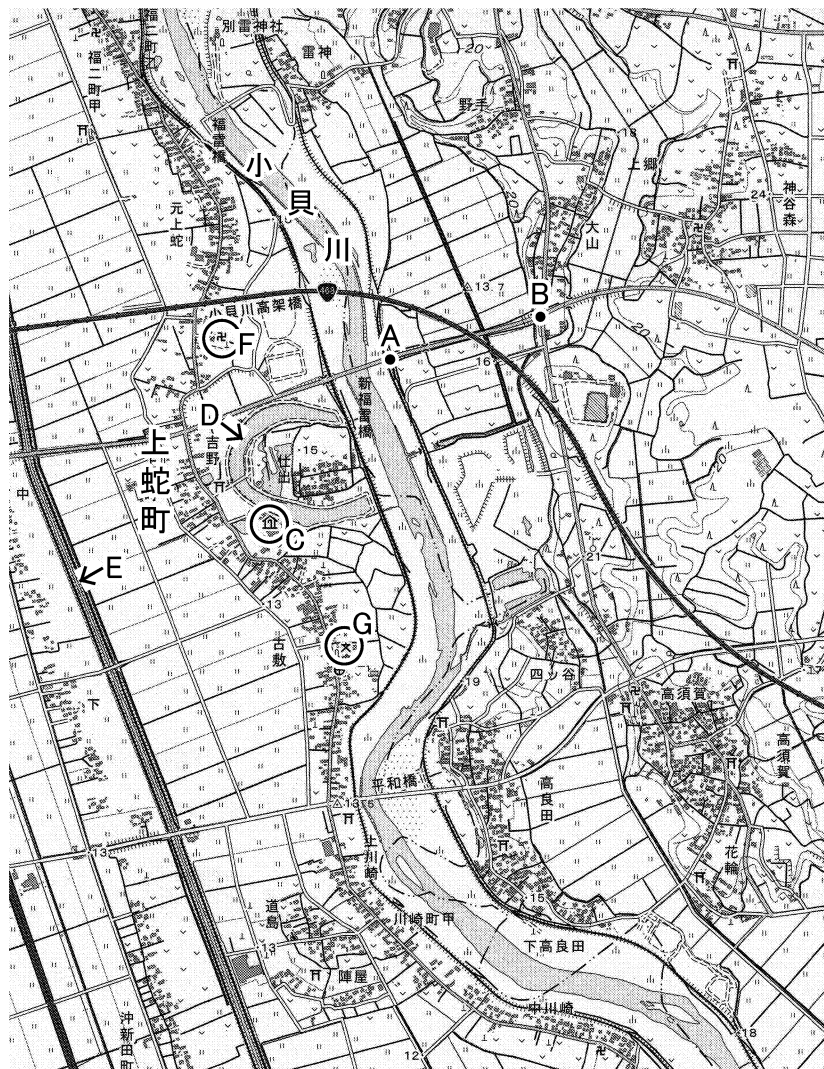


地理 B

1

次の図を見て、下記の設問に答えよ。



図

(2万5千分の1地形図「谷田部」の一部、原寸、一部改変)

問1 下記の(1)～(4)の設問に答えよ。

- (1) この図を発行している機関がインターネットで配信している Web 地図の名称を漢字5文字で答えよ。
- (2) 地図上で地点 A と地点 B までの長さを計測したところ2 cmであった。地点 A・B 間の実際の距離を答えよ。
- (3) 円 C 内の地図記号の名称を答えよ。
- (4) 等高線の一種で、低地の微起伏 (たとえば2万5千分の1地形図では10m以下) を表すために用いられる線の名称を漢字4文字で答えよ。

問2 図中の小貝川は流域面積日本1位の河川 X の支流である。これに関連して下記の(1)～(3)の設問に答えよ。

- (1) 河川 X の名称を漢字で答えよ。
- (2) 河川 X は江戸時代に大規模な治水事業によって流路が大きく変更された。このように流路を付け替える治水事業の名称として最も適当なものを以下の1～4から一つ選び、番号で答えよ。
 1. 鞍替 2. 瀬替 3. 国替 4. 両替
- (3) 河川 X の付け替え後の河口には、遠洋漁業の根拠地として日本有数の水揚量を誇る水産都市が位置する。この都市名を漢字で答えよ。

問3 図中の地形について下記の(1)・(2)の設問に答えよ。

- (1) 図中の地域を含む日本最大の平野の名称を漢字4文字で答えよ。
- (2) 矢印 D が示す湖の地形名を漢字4文字で答えよ。

問4 矢印 E が示すのは人工的な水路である。これに関連して下記の(1)・(2)の設問に答えよ。

- (1) この水路は江戸時代に建設され、周辺の農業開発に寄与した。その結果、この地域に形成された集落の一般名称を漢字4文字で答えよ。
- (2) この水路およびその周辺に関する下記の文章中、下線部①・②の正誤の組み合わせとして正しいものを以下の1～4から一つ選び、番号で答えよ。

この水路は堤防のない堀で、周辺の農地は農機具の機械化などに合わせて耕地整理が行われている。

1. ①：正 ②：正 2. ①：正 ②：誤 3. ①：誤 ②：正 4. ①：誤 ②：誤

問5 図の地域では1986（昭和61）年と2015（平成27）年に大きな水害が発生した。これらに関連して下記の(1)～(3)の設問に答えよ。

- (1) 円 F の寺院は、いずれの水害時にも浸水を免れた。この理由は寺院 F が付近からわずかに標高の高い地形に位置していたためと考えられる。この地形名を漢字で答えよ。
- (2) 1986年の水害時には図のさらに北側で堤防が決壊した。今、その場所に「決壊口の跡」と刻まれた石碑が建っている。このように、災害の教訓を後世に伝えることを意図して建てられた石碑は防災上も重要視され、2019年に右のような地図記号が新設された。この地図記号の名称を漢字7文字で答えよ。
- (3) 矢印 D の西にある「上蛇町」の住民が、災害対策の一環で行政の発行する地図を使って避難場所を確認すると、指定避難場所は円 G の小学校であること、また水害時には校舎の2階以上に避難しなければならないことが分かった。このように災害発生時の緊急避難経路や避難場所などが示された地図の名称をカタカナ7文字で答えよ。



世界の気候区に関する次の A ～ D の文章を読み、下記の設問に答えよ。

A この気候区は、北極海沿岸に広く分布する。最暖月でも平均気温は0℃以上10℃未満であり、夏の間に高山植物や地衣類、コケ類がわずかにみられる（ア）が広がる。この気候区の土壌である（ア）土は、下層が永久凍土になっている。夏だけ表面の層がとけるが、下には凍土があるため表層からの融解水が浸み込まずに湿地が広がっている。サーミやエスキモー（カナダではイヌイット）と呼ばれる人々がトナカイの遊牧や、狩猟を行っている。^①

B この気候区は、おもに緯度25～40度の大陸東岸に分布する。夏は熱帯性の気団の影響を受けて高温になる。いっぽう冬は大陸性の気団による強い寒気の影響を受けて低温となる。このため、四季の区別が明瞭である。低気圧や前線の活動などの影響を受けて、一年を通じて降水量が多い。樹木は常緑広葉樹から落葉広葉樹、針葉樹が加わった混合林が見られる。土壌はおもに褐色森林土であるが、北アメリカの（イ）では黒色の肥沃な土壌である（イ）土が見られ、小麦やトウモロコシなどが栽培されている。^②また、南アメリカ南東部の平原に広がる湿潤（ウ）では、小麦などが栽培され、穀倉地帯になっている。

C この気候区は、熱帯雨林気候区より高緯度側に分布し、夏には熱帯収束帯の影響で雨季となり、冬には亜熱帯高圧帯の影響で乾季となる。草たけの長い草原の中に樹木が点在する（エ）が広がり、大型草食動物が多い。やせた土壌が多いが、デカン高原では（オ）、^③ブラジル高原では（カ）と呼ばれる玄武岩が風化した肥沃な土壌が広がる。

D この気候区は、砂漠の周辺に帯状に分布する。弱い雨季があるため短い草や低木が育ち（キ）と呼ばれる草原が広がっている。比較的雨の多い北アメリカのグレートプレーンズなどでは小麦を中心に大規模な農牧業が行われている。土壌は腐植に富み、肥沃な黒色土や栗色土となる。とくにウクライナからシベリア中部にかけて分布する黒色土は（ク）と呼ばれ、おもに小麦が栽培されている。

問1 文章中の（ア）～（ク）にあてはまる語句をそれぞれ答えよ。なお、同じ記号には同じ語句が入る。

問2 A～Dの気候区をケッペンの気候区分の記号でそれぞれ答えよ。

問3 下線部①に関して、「サーミ」がおもに住んでいる半島として最も適切なものを、下記の1～4から一つ選び、番号で答えよ。

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. アラスカ半島 | 2. スカンディナヴィア半島 |
| 3. カムチャッカ半島 | 4. ラブラドル半島 |

問4 下線部②に関して、「トウモロコシ」の原産地として適切な地域を、下記の1～4から一つ選び、番号で答えよ。

- | | | | |
|--------|----------|---------|-----------|
| 1. 中南米 | 2. 東アフリカ | 3. 西アジア | 4. 南ヨーロッパ |
|--------|----------|---------|-----------|

問5 下線部③に関して、「デカン高原」はどの国にあるか、国名を答えよ。

次の文章を読み、下記の設問に答えよ。

現在、石油は世界全体で最も消費されているエネルギーである。油田から採掘された原油が、製油所などで分解・加工されて石油や石油化学製品などになる。

原油の分布は地域的に大きく偏っていることが特徴であるが、その消費量は先進工業国のほか、中国やインドなどアジアの新興国でも伸びており、貿易が盛んである。^①産油国である中国やインドネシアは、すでに輸入国となっている。

石炭は、確認埋蔵量が化石燃料の中で最も豊富である。その分布は地域的な偏りが石油より小さい。石炭は、工場や発電所での燃料のほか、製鉄の原料としても広く利用されている。石炭は産出量に占める貿易量の割合が石油に比べると非常に小さい。^②それでも国内需要が拡大する国では、工業用として石炭の輸入を大幅に増やしており、世界の石炭需要変動に大きな影響を与えている。^③また、石炭の主要な輸出国では、地表で鉱産物を採掘する（ア）掘りによって石炭が大量に採掘されている。

石油や石炭といった化石燃料の燃焼によって、二酸化炭素などが発生する。二酸化炭素は地球温暖化の原因とされる（イ）ガスと呼ばれている。過去100年の間に地球の平均気温は上昇しており、今後一層の上昇が懸念されている。化石燃料の利用は、主として、化学式で SO_x と呼ばれる（ウ）などの排出物がもたらす大気汚染問題に加え、地球規模の環境問題を引き起こしている。

この問題に対して、非枯渇性で地球環境への負担が少ない（エ）エネルギーの活用が不可欠となっている。太陽光や風力のほか、木くずなどの生物資源を利用する（オ）エネルギーなどの利用が世界各地で急速に進んでいる。発電においても、そのエネルギー源別割合が大きく変わりつつある。^④もっとも（エ）エネルギーの普及には、生産コストの高さや自然環境への影響などが課題となっており、エネルギーの効率的利用の追求や、需要そのものの抑制が求められる。

エネルギー資源に加え、金属資源も重要である。このうち、鉄鉱石は工業の基礎的な素材となる鉄鋼の原料である。鉄鉱石は、安定陸塊に含まれる先カンブリア時代の岩盤が露出した（カ）地を中心に広く分布する。先進工業国が発展途上国に資本や技術を投入し、資源を開発して輸入する方式である開発輸入が広くみられる。日本において、鉄鉱石を原料とした鉄鋼業は、近代化の過程では石炭・鉄鉱石の産地やその近隣地域に立地したが、技術の進歩や国内資源の枯渇によって、資源の輸入に便利な臨海部に鉄鋼一貫の巨大な製鉄所が立地するようになった。^⑤^⑥

問1 （ア）～（カ）にあてはまる適当な語句をそれぞれ答えよ。なお、同じ記号には、同じ語句が入る。

問2 下線部①に関し，表1に原油の輸出量の上位6か国を示した。表中の（ A ）にあてはまる国名を答えよ。

表1 原油の輸出量（2017年，万トン）

国名	輸出量
（ A ）	34,732
ロシア	25,217
イラク	18,677
カナダ	17,222
アラブ首長国連邦	11,846
イラン	11,555

出典：『世界国勢図会 2020/21』

問3 下線部②に関し，表2に石炭の産出量と輸出量の上位4か国を示した。表中の（ B ）（ C ）にあてはまる国名を答えよ。

表2 石炭の産出量と輸出量（2017年，万トン）

国名	産出量	国名	輸出量
中国	352,356	インドネシア	38,954
（ B ）	67,540	（ C ）	37,894
インドネシア	46,100	ロシア	18,102
（ C ）	41,572	コロンビア	10,269

出典：『世界国勢図会 2020/21』

問4 下線部③に関し，表3に2000年と2017年の石炭の輸入量の上位4か国・地域を示した。表中の（ D ）（ E ）にあてはまる国名を答えよ。

表3 石炭の輸入量（万トン）

国・地域名	輸入量（2000年）	国・地域名	輸入量（2017年）
（ D ）	14,505	（ E ）	27,093
韓国	6,164	インド	20,827
台湾	4,540	（ D ）	18,696
ロシア	2,552	韓国	12,911

出典：『世界国勢図会 2004/05・2020/21』

問5 下線部④に関し、図1に4か国の発電エネルギー源別割合を示した。図中の(A)～(D)にあてはまる国名を、下の1～4からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えよ。

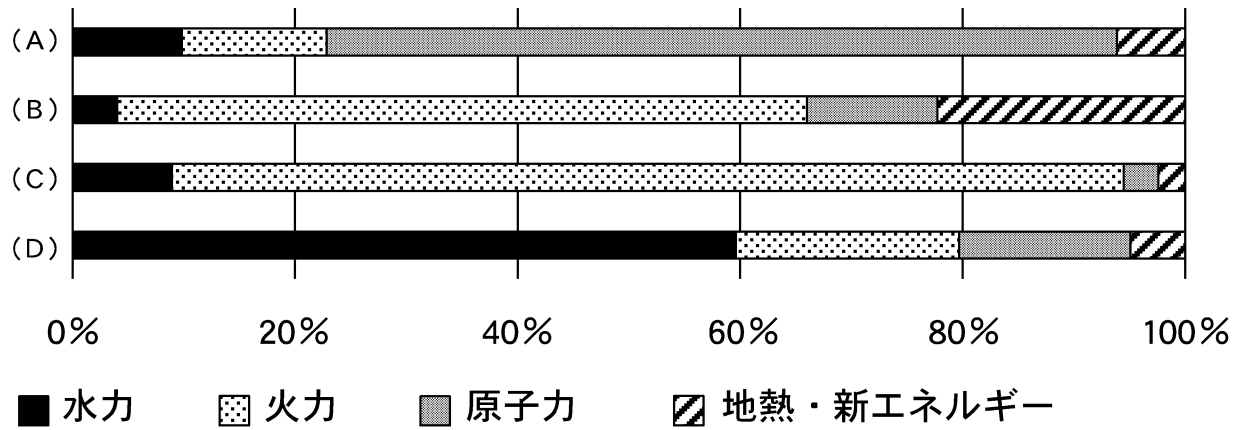


図1 発電エネルギー源別割合 (2017年)

出典：『世界国勢図会 2020/21』

1. 日本 2. カナダ 3. フランス 4. ドイツ

問6 下線部⑤に関して、これにあてはまらないものを下の1～4から一つ選び、番号で答えよ。

1. 堺 2. 室蘭 3. 釜石 4. 北九州

問7 下線部⑥に関して、この立地条件に該当する都市を、下の1～4から一つ選び、番号で答えよ。

1. 大分 2. 新潟 3. 下関 4. 小樽

4

東南アジアの農業に関する次の文章を読み、設問に答えよ。

① ヨーロッパ各国やアメリカ合衆国の植民地となった東南アジア諸国では、プランテーション農業がおこなわれるようになり、先進国に輸出する商品作物が栽培されるようになった。19世紀後半には、(ア)を原産地とするゴムの木が東南アジアに移植され、化学工業や自動車工業の発展に伴って、天然ゴムのプランテーションが拡大した。②

1960年代には(イ)を原料とする合成ゴムの生産がさかんになったため、天然ゴムの国際価格は低迷する一方、食用の他に石けんや洗剤の材料となる(ウ)から取れるパーム油の需要が増大していた。③そのため、東南アジアの天然ゴム農園では、(エ)原産の(ウ)への転作を進めた。その結果、東南アジアは世界最大のパーム油生産地域となった。

また、熱帯・亜熱帯気候で降水量が多く、腐植に富む排水のよい土壌は、バナナの栽培に適している。そのため、中南米諸国の他、東南アジアでもバナナが作られている。第二次大戦後の日本で消費されるバナナのほとんどは台湾産で、価格が高く高級品であったが、台湾は台風の影響をしばしば受けるため、生産量が不安定であった。1963年にバナナの輸入が自由化されると、価格も下がり、輸入元も変化した。1970年代前半、輸入元の中心は(オ)に移り、その後(カ)へと変わった。

問1 下線部①について、A. マレーシア、B. ベトナム、C. フィリピンをかつて植民地にしていた国名を下記の1～5からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えよ。

1. アメリカ合衆国 2. イギリス 3. フランス 4. ドイツ 5. ベルギー

問2 (ア)に入るもっとも適切な語句を下記の1～4から一つ選び、番号で答えよ。

1. 北米 2. 南米 3. アフリカ 4. オーストラリア

問3 (イ)に入るもっとも適切な語句を下記の1～4から一つ選び、番号で答えよ。

1. 石油 2. 石炭 3. サトウキビ 4. トウモロコシ

問4 (ウ)に入るもっとも適切な語句を下記の1～4から一つ選び、番号で答えよ。

1. ココヤシ 2. ナツメヤシ 3. サゴヤシ 4. アブラヤシ

問5 (エ)に入るもっとも適切な語句を下記の1～4から一つ選び、番号で答えよ。

1. 南アジア 2. 西アフリカ 3. 北アメリカ 4. 東ヨーロッパ

問6 (オ)に入るもっとも適切な国名を下記の1～4から一つ選び、番号で答えよ。

1. コスタリカ 2. エクアドル 3. コロンビア 4. ブラジル

問7 (カ)に入るもっとも適切な国名を下記の1～4から一つ選び、番号で答えよ。

1. マレーシア 2. インドネシア 3. タイ 4. フィリピン

問8 下線部②について、下記の表1は、2019年の天然ゴムの生産量の上位5か国をまとめたものである。

表1中の（A）～（C）にあてはまる東南アジアの国名を下記の1～6からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えよ。

表1

国名	生産量（千t）
（A）	4,900
（B）	3,100
（C）	1,222
コートジボアール	780
中国	774

出典：『世界国勢図会 2020/21』

1. タイ 2. ベトナム 3. カンボジア 4. フィリピン 5. マレーシア
6. インドネシア

問9 下線部③について、下記の表2は、2018年のパーム油の生産量の上位5か国をまとめたものである。

表2中の（D）～（F）にあてはまる東南アジアの国名を下記の1～6からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えよ。

表2

国名	生産量（千t）
（D）	40,567
（E）	19,516
（F）	2,777
コロンビア	1,630
ナイジェリア	1,050

出典：『世界国勢図会 2020/21』

1. タイ 2. ベトナム 3. カンボジア 4. フィリピン 5. マレーシア
6. インドネシア